

令和5年2月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

令和5年(2023年)2月22日(水) 午前9時00分から10時15分まで

2 場 所

中央公民館 学習室5

3 議 題

- (1)協議(審議・検討)
 - 議案第3号 学区外就学の認定について
- (2)不登校対応について
- (3)学校 ICT 教育について
- (4)報告
 - ア 新型コロナウイルス感染症の状況について
 - イ 教育課
 - (ア)いじめの状況等について
 - (イ)進路状況(小6)について
 - (ウ)児童クラブの申込み状況等について

4 出席者

○教育長 小山 隆文

○教育委員

教育長職務代理者 下村 征子

委員 小林 経明

委員 直井 良一

委員 五十嵐 英美

○その他

柳沢教育次長、清水教育課長、樋沢生涯学習課長

安川学校教育係長、重田青少年教育係長

長岡指導主事、畑田指導主事、山口指導主事、岡澤指導主事

中村学校教育係主査、土屋学校教育係主査、塚田学校教育係主事

会議録

柳沢教育次長

ただいまから、2月度定例教育委員会を始めます。教育長から開会宣言をお願いします。

小山教育長

2月度定例教育委員会を開会します。

早朝よりお越しを頂き有り難うございます。本日は、この定例教の後10時30分より「第2回 総合教育会議」が公室で計画されております。

本日の総合教育会議では、1月度の定例教でお話ししました、令和5年度に向けた「教育支援構想」をたたき台に、忌憚のないご意見を頂けたらと思っておりますので宜しくお願い致します。

さて、本年度の北御牧中学校に続きますが、次年度も対話型鑑賞による10分間授業であります朝の学活を使った「朝鑑賞」に積極的に取り組んで参ります。市内の全学級で取り組みますので、軌道に乗るまでには少し時間が必要かと思われませんが、武蔵野美術大学の三澤教授や和小学校の宮下校長、梅野記念絵画館ふれあい館の大竹館長、丸山晚霞記念館の佐藤館長、文化係の日向主査や花岡主事といった素晴らしい方々がおりますので、学校の持つ魅力を再構築しながら、自由に「もの」が言い合える環境を創出してまいりたいと思っております。

また、本年度学校の避難訓練で、田中小学校の取組が新聞にも載りましたが、地区の消防団の皆さんとコラボを頂きました「防災教育」も、2つ目の重要な取組として進めて参りたいと考えております。小学校では、消防署の指導を頂きながらの「子ども防災マップ」作り、中学校では、こちらも消防署の皆さんの応援を頂きますが、AEDの扱いを学ぶ「救命救急講習」に係ることで、社会学としての間口を広げ、社会と繋がる学びを通して、子ども達の社会的自立心を育てて参りたいと考えております。

他にも学年を分けながらですが、これまで大人の皆さんや社会から支援される側におりました子ども達が、支援する側になって学ぶ「認知症サポーターの養成研修」、SDGsを基盤にした「環境教育」にも取り組んで参ります。

いずれにしましても、「子どもサポートセンター」との連携は勿論ですが、先生方の協力を頂きながら、学校そのものの学びの世界を広げることで、先程お伝えしました社会的自立心の育成に繋げ、自己肯定感や自己有用感を高めることで、不登校の未然防止に取り組んで参ります。

結びに、諸連絡になりますが、日立 Astemo 株式会社様より両中学校にご寄附を賜り、2/13(月)に贈呈式がありました。楽器を購入する計画です。

また、北御牧中学校で2年目を迎えました「ゆるスポーツ」ですが、コロナ感染で中止になりました分を、試験的に東部中学校の1年生に呼びかけましたところ、2/8(水)の実施日には、2名の男子生徒が、昨日、2/21(火)には、3名の生徒が出席をしてくれました。次年度に繋がるかなと嬉しくなりましたので報告させて頂きました。本日も宜しくお願い致します。

(1)協議(審議・検討)

小山教育長

議案第3号 学区外就学の認定については個人情報の関係もありますので、内容は非公開としたいと思います。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

小山教育長

それでは、非公開とします。

小山教育長

(2)不登校対応につきましては、個人情報の関係もありますので、内容は非公開としたいと思います。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

小山教育長

それでは、本件の内容に関しましては非公開と致します。続きまして、(3)学校 ICT 教育について説明を求めます。

山口指導主事

今月のICT教育の状況です。一部の小学校の英語の授業でオンライン交流をした際に、機械のフリーズ等がありましたが、支援員にご対応いただきました。また、授業以外でも各校の来年度の市バス使用希望調査を集計する際にも対応していただき、例年の半分の時間でまとめられたとの声をいただいております。また、前回提案していただいた学習用ドリルアプリの件ですが、校長会にて検討させていただき、タブレットを積極的に使いこなせるように触れる機会を増やしたいことや、発達に特性のある子どもについてはタブレットの方が使いやすいということもあり、導入するという方向で決定させていただきました。紙のドリルとの違いとしましては、同じ問題につまずいた際にAIが判断してくれることで類似問題が自動的に抽出される等、その子の苦手に沿った対応が可能という点もございます。有料アプリの導入を保護者の方へご理解をいただくためには、宿題等で子どもたちが積極的に活用している姿を見てもらうことも大切なのではないかと考えております。

小山教育長

ドリルアプリや学習アプリにつきましては、前回の定例教のご意見も受け、学校の取り組み状

況も含めて校長先生等と議論させていただきました。長期休業にもタブレットで対応できることや中学校は入試の過去問にも対応していることもあり、1学期をかけて課題や成果を確認しながら検討していきたいと考えております。また、学年費も出来るだけ現状のまま、保護者の方の負担がある場合にはご理解いただけるようきちんと説明をしていく予定です。

五十嵐委員

先日、ある小学校の授業参観を拝見させていただきました。タブレット学習を行ってまいりました。内容は10年後の自分への手紙ということで、基本的な項目以外はアレンジ自由という中で、個性を生かしたユニークでカラフルな発表がたくさんありました。また、子どもたちがタブレットを使用している姿を保護者の方々が見ることができ、タブレットの良さも実感していただけたと思います。

長岡指導主事

ドリルについては、学校の先生も書くということの重要性も大切にしておまして、特に1年生についてはアプリと紙の両方を活用して補っている状況です。

畑田指導主事

紙のドリルであると自己採点等の場合は個人の裁量で違って来る場合がありますが、アプリですとその場で機械が判断して採点してくれるというメリットもございます。

下村委員

算数等で実際に使用している姿を拝見いたしますと、アプリは最終的な解答の正解か不正解かのみで、その教科が苦手な子にとっては何が間違っているのか、式のどこで躓いたのか判断がしづらいように見えましたので、やはり長岡指導主事が仰ったように両方で補っていただきたいと感じます。また、体育で録画した様子にコメントを入れたりして動きを確認出来るのは活用方法としてとてもいいと思いました。

直井委員

低学年はあまり活用できていないように感じましたので、ここだけは使う等の目安を事前に決めておくといいかもしれません。

山口指導主事

一部の学校ではタブレットスキル目標作成という形で目安を決めておりますので、学年や学校全体でも検討していければと思います。

小山教育長

続きまして、(4)報告に移ります。順次報告願います。

清水教育課長

ア 新型コロナウイルス感染症の状況について報告します。学校からの報告について説明させていただきます。(詳細非公開)

小山教育長

続きまして、イ 教育課の報告事項についてご報告願います。

岡澤指導主事

(ア)いじめの状況等について報告します。(説明内容非公開)

山口指導主事

(イ)進路状況(小6)について説明します。(説明内容非公開)

重田青少年教育係長

(ウ)児童クラブの申込み状況等について説明します。この度、1月に締め切った市内5箇所の児童クラブごとの新年度申し込み状況がまとまりましたので、お知らせします。令和5年度の申込者数は275名で、前年に比べ14名の増になりました。一部の児童クラブでは、低学年の希望者が定員より多い状態となっております。

小山教育長

ありがとうございました。本日の議題は以上です。それでは、2月度定例教育委員会を閉会します。